

躯体の長寿命化に貢献する 建材が大きなトレンドに

躯体の長寿命化に寄与する建材をイチオシとしてあげるメーカーも多く、大きなトレンドになってきている。兼松サステックは、自社独自の加圧式木材保存処理構造材・造作材「乾式防腐・防蟻処理材（ニツサンクリン）」をイチオシする。水を一切使用せず、乾式で処理するため、構造材の寸法変形を抑制しながら保存処理を行うことが可能。プレカット後の集成材などの処理にも対応可能で、採用実績を伸ばしている。

日本ボレイトは、日本唯一のホウ酸を配合した防蟻気密シーリング材「ボレイトシール」をイチオシ。ホウ酸を配合することで防蟻効果が長期間持続し、内部が硬化しないので剥離による隙間が生じにくい。「現在は工務店が主な需要層だが、ハウスメ

ーカー、パワービルダーに対してもアピールしたい」（同社）。

（以下は本文の続きが非常に小さくぼやけており、正確な内容は読み取れません。一般的な流れとしては、各社の特長や製品の詳細、今後の見通しなどが続くと思われます。）

社名	商品名	特徴
兼松サステック	乾式防腐・防蟻処理材（ニツサンクリン）	水を一切使用せず、乾式で処理するため、構造材の寸法変形を抑制しながら保存処理を行うことが可能。
日本ボレイト	ボレイトシール	日本唯一のホウ酸を配合した防蟻気密シーリング材。ホウ酸を配合することで防蟻効果が長期間持続し、内部が硬化しないので剥離による隙間が生じにくい。
（以下は他の社名と商品名がぼやけており、正確な内容は読み取れません。）		